

京都市外郭団体中期経営計画

(公財)京都伝統産業交流センター	中期経営計画 (平成30年度～平成32年度)
------------------	---------------------------

基本事項			
所管局課	産業観光局商工部伝統産業課	本市出えん金	5,000 千円
基本財産／資本金	11,000 千円	本市出えん率	45.5 %

1 「外郭団体のあり方の抜本的な見直し」における「今後の方向性」	
当欄では、「外郭団体のあり方の抜本的な見直し」において、外郭団体としての位置づけを「存続」するか、外郭団体としての位置づけを外れて「自律化」「解散」するかのいずれの方向性を決定したかを記載している。	
方向性	存続

2 今後取組を進めるうえでの「基本的方針」	
当欄では、「今後の方向性」の実現に向けて、各団体が業務面、財務面、組織面及びその他の各分野ごとに取り組むべき課題等について記載している。	
業務面	伝統産業に関する普及・啓発事業の実施を基本としながら、職人と職人、職人と異業種などの交流促進や伝統産業製品を幅広い層に使っていただくための販売促進に取り組むことにより、伝統産業業界の活性化を図る。
財務面	伝統産業製品の需要拡大につながる販売促進や京都伝統産業ふれあい館の機能充実などにより自主財源を確保し、財政の安定化を図る。
組織面	京都伝統産業ふれあい館の展示内容において、入館料有料化も見据えて企画展示の重要性が高まることから、高い企画力と調整力を有する専門の職員を配置するなど、施設の魅力向上に資する人員体制の強化を図る。
その他	特になし

京都市外郭団体中期経営計画

(公財)京都伝統産業交流センター

中期経営計画
(平成30年度～平成32年度)

3 基本的方針を実現するための具体的取組(3年間の計画期間中における具体的取組)

- ① 「基本的方針」を実現するための具体的な取組を記載する。
- ② 取組ごとに、各年度の目標となる指標及び目標値を設定する。
- ③ 計画期間の最終年度(平成32年度)の目標値が中期経営計画全体の目標値となる。

(1)業務に関する取組

目標「伝統産業の魅力を伝える普及啓発施設としての機能の充実」

取組内容	様々な角度から幅広い層に伝統産業への興味関心を持ってもらうため、「京都伝統産業ふれあい館」の展示スペースを有効活用し、伝統産業製品を網羅的に展示するのみでなく、個々の品目を横断的に包括するテーマによる企画展示など、独自のイベント等を実施する。					
○指標	独自の企画展示の開催回数					
採用理由	展示内容に変化を持たせることは、来館者の満足度を高め、再度の来館を促すことにつながるため					
目標値	H28(実績)	H29(見込)	H30(目標)	H31(目標)	H32(目標)	(単位：回)
	2	3	4	5	6	
実現方法	テーマについては、作り手の考えを反映させたり、伝統産業とは直接関係のない業界とのコラボレーションなど、できるだけ広い範囲の中から柔軟に設定する。					

(2)財務に関する取組

目標「伝統産業製品の販売促進機能の充実」

取組内容	常設展示場における展示物の販売、オンラインショップ及び法人向けの記念品販売など、当財団が持つ伝統産業製品の購入窓口を有効に機能させ、それぞれの窓口が得意とする異なるターゲット層から幅広く伝統産業製品の販売拡大につなげる。					
○指標	伝統産業製品の提供事業における売上額					
目標値	H28(実績)	H29(見込)	H30(目標)	H31(目標)	H32(目標)	(単位：千円)
	40,071	33,000	34,000	35,000	36,000	

京都市外郭団体中期経営計画

(公財)京都伝統産業交流センター	中期経営計画 (平成30年度～平成32年度)
------------------	---------------------------

(3)組織に関する取組

目標「ふれあい館のリニューアルを見据えた人員配置」

取組内容	リニューアル後のふれあい館において重要性を増す企画展を定期的に魅力的な内容で開催していくとともに、その他ソフト事業との連携により業界全体の活性化に寄与するために必要な人員を配置する。					
○指標	職員数 ※ () 内は嘱託職員数					
目標値	H28(実績)	H29(見込)	H30(目標)	H31(目標)	H32(目標)	(単位：人)
	5 (2)	6 (1)	6 (1)	6 (1)	6 (1)	

4 中期経営計画に対する意見

団体が作成した中期経営計画に対する、所管局の意見を記入します。

所管局	<p>総合プロデューサーを中心に、企画展を充実させ、異業種交流や工房訪問事業などの多くのソフト事業を実施したことで、認知度の向上により入館者数も2年連続で増加しており、世界最大の旅行口コミサイトにおいて国内第5位に選ばれるなど結果も出てきている。</p> <p>今後も引き続き、業務面・財務面・組織面それぞれの分野においてしっかり取り組んでいただき、さらに京都の暮らしと文化を育んだ本市の伝統産業の振興を担う「核となる施設」として、積極的に展開していただきたい。</p>
-----	---